

公立大学法人 大阪府立大学 平成17事業年度の取組

大阪府立大学が目指すもの
4つのキーワード

- 知の創造 (豊かな社会の構築につながる独創的で先駆的な高度研究の推進)
- 知の継承 (幅広い教養や豊かな人間性と高度な専門的知識を備えた社会をリードする人材の育成)
- 知の活用 (産学官連携等の積極的な展開による研究成果の活用)
- 地域貢献 (地域課題や社会の要請に対応した特色ある研究の推進と研究成果の社会還元)

～ 三大学の再編統合と公立大学法人化 ～

重点的な取組事項

高度研究型大学を目指した
教育研究水準の向上

産学官連携機構を核とした
地域・社会貢献の推進

自立性・機動性を発揮した
戦略的な大学運営

業務運営・財務内容の改善と
施設整備

教育研究活動

全学教育研究組織の整備

- 総合教育研究機構
- 産学官連携機構
- 学術情報センター

教育の充実・改善
文部科学省の教育改革支援事業の獲得

- 現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)
- 「魅力ある大学院教育」イニシアティブ

～ 成果 ～

- 学部教育・大学院教育の充実
- 副専攻制度の導入(平成18年度)

総合リハビリテーション学研究科の開設(平成19年4月～)
全学部に研究科を設置し、高度専門職業人の養成を推進

競争的環境の醸成
学内公募制度や学長裁量経費制度の活用による教育研究経費の競争的環境の醸成
⇒ 教育研究分野の活性化

組織の枠を超えた研究体制の充実
部局横断型の共同研究グループ・「21世紀研究所」を設置
⇒ 部局の枠を超えた新しい融合分野での研究の充実・発展

地域貢献

社会人にかかれた大学の実現
サテライト教室での社会人対象のプログラムの展開
エクステンションセンターでの公開講座の実施(22講座)

産学官連携の拡充
先端科学共同研究プロジェクト制度の創設
(IT、ナノ、バイオ分野における提案公募型共同研究プロジェクトの重点取組)

計画を上回る共同研究・受託研究実績

単位:件

種別	実績	計画	実績
共同研究	141	150	172
受託研究	96	100	132
特許出願	74	90	139

府政との連携の推進
府政の課題に対応した研究の推進
府審議会委員等への就任

業務運営及び財務内容の改善

理事長の
トップマネジメント

全学的経営戦略の推進
戦略的・重点的な予算配分制度の確立(学長裁量経費)
外部資金獲得のインセンティブ保持方策の導入

外部研究資金獲得額
目標を大幅に上回る30.8%増を達成

単位:百万円

年度	実績	計画	実績
前年度	1,543	1,621	2,020

外部研究資金獲得

教育研究組織の見直し
部局横断型の共同研究グループ・「21世紀研究所」を設置

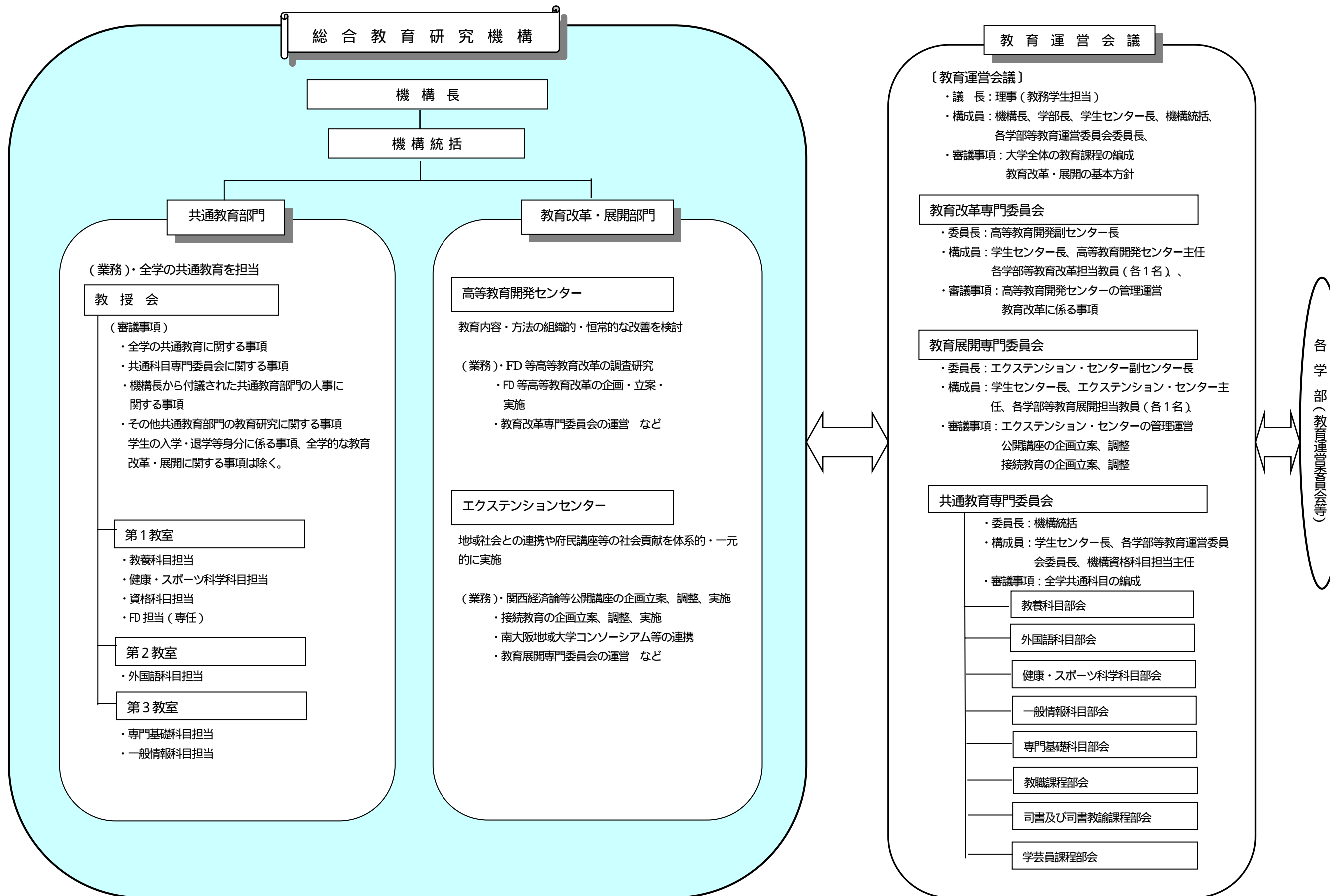
事務処理の効率化・合理化
事務処理のシステム化、ネットワーク化
アウトソーシング・人材派遣サービスの導入
⇒ 事務職員のスリム化 28名減(276名 248名)

教員組織のスリム化
非常勤講師、TA・RAの活用
⇒ 教員配置計画数 20名減(845名 825名)

施設整備(教育研究環境の整備)

新たな事業スキームの確立による早期の学舎整備
CM(コンストラクション・マネージメント)やSPC(学舎整備のための特別目的会社)の活用などを組み合わせた仕組みの確立
⇒ 総合教育研究棟の設計に着手

大阪府立大学 総合教育研究機構 組織図



大阪府立大学 産学官連携機構 組織図

